

経営比較分析表（令和4年度決算）

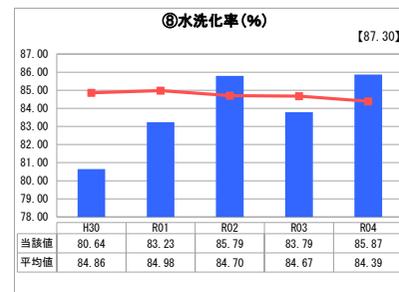
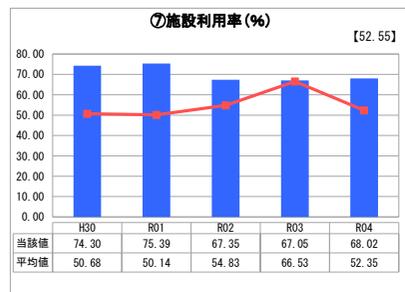
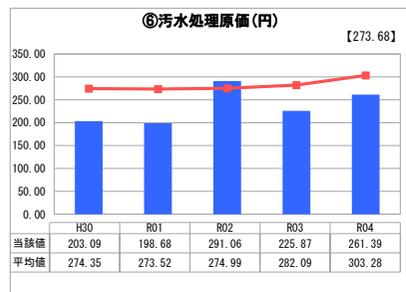
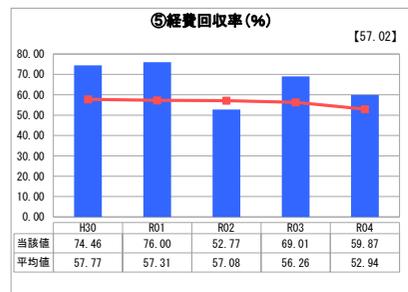
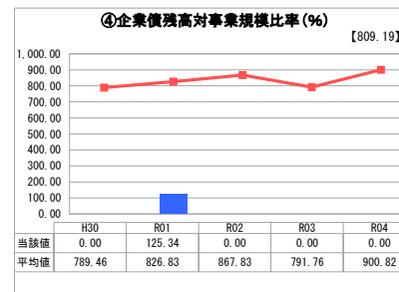
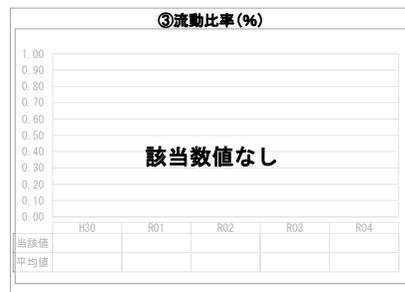
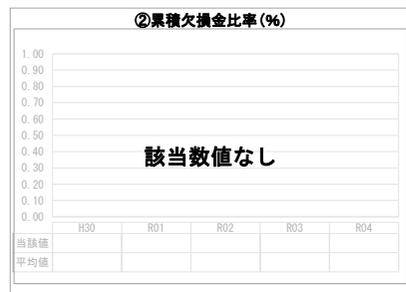
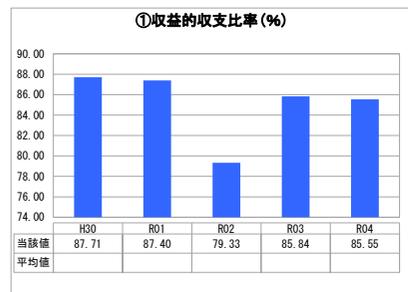
熊本県 芦北町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	22.45	91.88	3,300

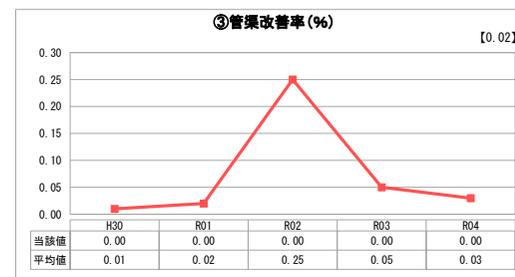
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
15,724	234.01	67.19
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
3,495	1.89	1,849.21

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経営については一般会計からの繰入金に依る部分があり、また、処理施設の老朽化が進行している状況である。
そのため、交付金を活用した施設更新や、施設統合、使用料の見直し等を今後も引き続き進めていく必要がある。

2. 老朽化の状況について

伏木氏処理区を除く5処理区（芦北・米田・花岡東・女島西・内野）については、供用開始後20年以上を経過し、施設・管路等の老朽化が進行している。
そのため、R3年度から順次、処理施設の更新工事を実施している。

全体総括

供用開始20年を超え、老朽化した施設の維持管理経費等の増加や、人口減少による使用料の減少も今後避けられない状況である。
R3年度から芦北処理場の更新工事を実施しているが、今後は、米田地区での更新も計画予定。
また、R6年度から地方公営企業法を適用する予定であり、より正確な経営分析が可能になるので、使用料改定についても検討を進めていく予定。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。